

資料配布場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会

補正予算による河川水理実験施設の大幅機能向上 ～土砂・流木被害の防止・軽減に資する対策技術の向上に向けて～

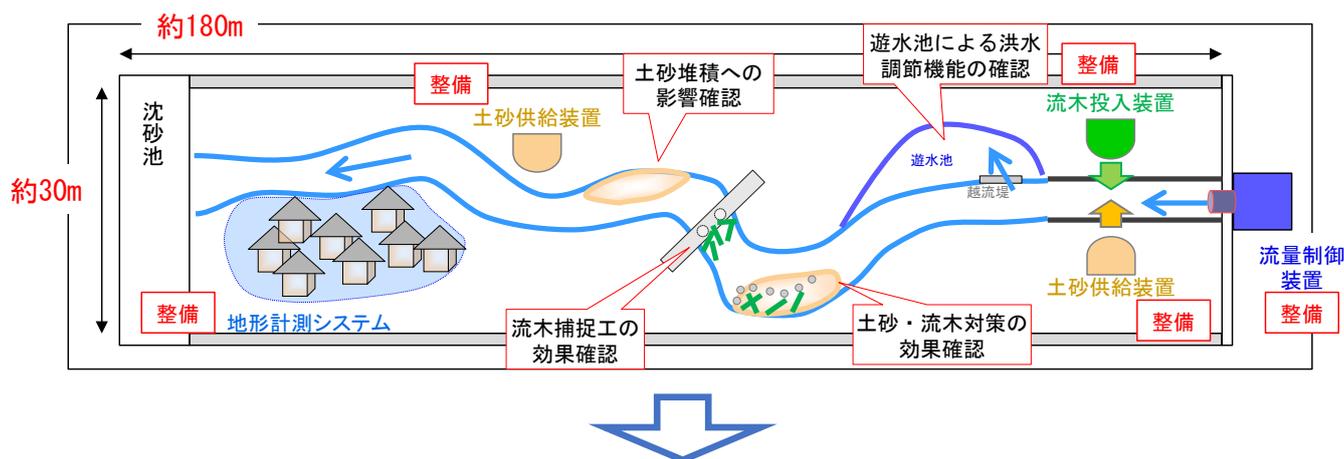
国総研では、九州北部豪雨をはじめ、土砂・流木を伴う洪水の発生により甚大な被害を受けた河川において、土砂・流木被害の防止・軽減に資する研究を推進しています。この度、平成29年度補正予算で、河川水理実験施設に土砂供給装置や流木投入装置などを導入し、土砂・流木被害の発生メカニズムも踏まえた被害の防止・軽減策を検討します。

1. 研究概要

- 近年、気候変動の影響から水害の頻発化・激甚化が懸念されており、昨年発生した九州北部豪雨をはじめ、中小河川での土砂や流木による甚大な被害が発生しており、**被害の防止・軽減策の検討が早急に求められている。**
- そのため、土砂や流木を伴う流れが発生した際の被害(土砂による家屋の埋没、流木捕捉に伴う橋梁背後への迂回流の発生等)を軽減する**対策工の検討が課題となっており、土砂・流木被害の発生メカニズムを解明する実験を行う必要がある。**

2. 施設の整備内容

実河川に対策工を設置したときの効果を検証するため、実験水路を製作し、**流量制御装置、土砂供給装置、流木投入装置、地形計測システム**を新たに整備する。



局地化・激甚化する豪雨に対して流域における家屋や土地等の保全に寄与

問い合わせ先

【研究・整備関係】

河川研究部 河川研究室 主任研究官 福島 雅紀
 TEL : 029-864-2758 FAX : 029-864-1168

【予算関係】

企画部 企画課 課長補佐 辻野 満
 TEL : 029-864-4083 FAX : 029-864-1527